

新潟大学 倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	ePISA Ready：歯周炎症の“見える化”—PHR 搭載に向けた実装前検証—
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	日本歯周病学会認定医、認定指導医、認定歯科衛生士ならびに日本歯科専門医機構認定の歯周病専門医 の申請症例として2024年度以降にまとめられた日本歯周病学会が有する臨床データベースの情報を使用します。
③概要	本研究は、日本歯周病学会臨床データベースに登録された情報を用いた研究です。すでに行われた検査や治療の情報をデータベースから抽出して行う研究のため、新たにご協力いただくことはありません。またデータはすでに個人が識別できない形になっていますので、申し出があっても特定の個人を除外することは不可能です。この研究は新潟大学が主機関となり、国内の他の大学等と行う多機関共同研究です。
④申請番号	受付-46719
⑤研究の目的・意義	歯周病の検査結果などの情報を収集し、分析することで、新たな歯周病の診断モデルを検討・構築することを目的としています。歯科だけでなく医科とも情報として共有しやすい診断のモデル化を目指します。
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から 2028年3月31日まで 利用開始予定日：2026年7月6日 提供開始予定日：2026年7月6日
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	日本歯周病学会認定医、認定指導医、認定歯科衛生士ならびに日本歯科専門医機構認定の歯周病専門医の申請時に臨床データベースに登録されたデータの提供を日本歯周病学会より受け、解析します。データの評価・解析は本学および各施設で行います（データは個人が識別できない形でメールにより送付）。 ・共同研究施設：新潟大学、松本歯科大学、岡山大学、東京科学大学、大阪大学、東京歯科大学、朝日大学、日本歯科大学、九州大学、東北大学、徳島大学、特定非営利活動法人 日本歯周病学会
⑧利用または提供する情報の項目	臨床データベースから提供を受けるデータは、年齢、性別、喫煙歴、内科的な疾患（糖尿病など）、歯ぎしりの有無、歯周炎の検査値（歯周ポケット深さ、プロービング時の出血、歯の動揺度、プラークコントロールレコード）等になります。
⑨利用する者の範囲	新潟大学および以下の共同研究機関等で利用いたします。 新潟大学 歯周診断・再建学分野 多部田 康一 共同研究機関： 松本歯科大学、岡山大学、東京科学大学、大阪大学、東京歯科大学、朝

	日大学, 日本歯科大学, 九州大学, 東北大学, 徳島大学, 特定非営利活動法人 日本歯周病学会
④試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学 歯周診断・再建学分野 多部田 康一 共同研究機関： 松本歯科大学, 吉成 伸夫 岡山大学, 高柴 正悟 東京科学大学, 岩田 隆紀 大阪大学, 藤原 千春 東京歯科大学, 石原 和幸 朝日大学, 菊池 毅 日本歯科大学, 倉治 竜太郎 九州大学, 讃井 彰一 東北大学, 根本 英二 徳島大学, 湯本 浩通 特定非営利活動法人 日本歯周病学会, 多部田 康一
④お問い合わせ先	本研究に対する同意の拒否や研究に関するご質問等ございましたら下記にご連絡をお願いします。 所属分野：東北大学大学院 歯学研究科 歯内歯周治療学分野 氏名：根本 英二 Tel：022-717-8337 E-mail：eiji.nemoto.d5@tohoku.ac.jp